

事業所名:まごころ千曲

実施日:令和3年 12 月

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			外出や調理活動でグループを分けることにより、室内の人数を調整している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		車いす利用者にはトイレが狭いなど構造上どうしても対応しきれていないところもある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			支援の質の向上のために定期的なミーティングが行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年アンケートを取り、保護者の意向を取り込むことに繋がられている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	ここ数年課題に挙げているが実施には至っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			OFF-JT で学んできたことを OJT を行うことで全スタッフの研修機会を確保している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			各児童にとって適切な期間でモニタリングを行い、計画の作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			主に強度行動障害で使用される支援手順書を用いている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			調理や工作など、定期的にも実施できるよう計画の中。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			特に長期休み中の目標を明確にした。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			将来的な自立を目標にしている児童に対して社会経験の拡大となるような取り組みを心掛けている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後だけでなく、休みだったスタッフに対して翌日以降に伝達。

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			内容の統一や記録ミスをなくすことについては改善の余地あり。
---	--	---	--	--	-------------------------------

	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			地域交流の機会の提供は現状では難しい。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校によって差がある為、同程度にできるよう働きかけを続けていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医のみならず、訪問看護ステーションとの連携を図っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			移行支援会議や可能な状況下であれば保育所・幼稚園を訪問し、該当児童の様子を見せていただいている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			多くは担当の相談支援専門員より情報を提供。依頼があった時には事業所からも情報提供。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		同地域にセンターがないため連携はできていない。同圏域のセンターで開催される研修に参加。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流の必要性は感じるが現在のところ機会を設定できていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			複数の専門部会に参加。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用終了時の引き渡しの際に児童の様子を伝えたり、定期的に面談の機会を設けている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	スタッフがペアトレの研修を受講したり保護者にペアトレ研修受講のお勧めはしたが、実際に保護者に対する支援はできていない。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			どのような支援をしていけば良いかをスタッフ間で話し合っ方向性を決め、保護者に助言することができている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		新型コロナ禍でここ2年間は開催できていない。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			対象となる事象を精査し、その時の状況や原因・理由、その後の対応策についてお知らせしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月通信を発行している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚ツール等用いて対応している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	昨今は新型コロナの影響もあるが地域交流はできていない。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			新たに土のうを準備し水害時防災訓練も整備することができた。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			基本年1回県の虐待防止研修で学んだことを事業所内で伝達講習を行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在のところ身体拘束を必要とする児童が在籍していないため、デイサービス計画への記載は無し。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在食物アレルギーのある児童が在籍していないため実施なし。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット・事故発生後ミーティングで報告。その後定期的に振り返り及び見直しをしている。